

第 275 回価格審査委員会議事要旨

開催日時、場所	2026 年 9 月 17 日（木）午前 9 時 57 分～11 時 58 分 経済調査会会議室
出席委員	加藤 佳孝 東京理科大学 創域理工学部社会基盤工学科 教授 小路 直彦 株式会社日建設計 エンジニアリングフェロー 野口 貴文（委員長） 東京大学 大学院工学系研究科 建築学専攻 教授 望月 貴文 一般財団法人国土技術研究センター 技術・調達政策グループ 総括 （五十音順）

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
1. 前回議事概要の確認	・ 前回議事概要案が承認された。		
2. 「積算資料」10 月号土木系資材の価格変動の妥当性について	・ 審査対象資材のうち、10 月号で掲載価格に変動が生じる土木系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。		
	＜品目＞	【地区】	（理由）
	【上伸した資材】		
	H形鋼	全国（札幌除く）	先送りされていた工事計画はデータセンターなどを中心に一部で再開の動きが出始めている。製造コスト増加によるメーカーの値上げで仕入価格が上昇した流通業者は、価格転嫁に注力し、市況上伸。
	生コンクリート	秋田	製造コスト増加を理由に昨年 4 月より打ち出した値上げの未達分について、組合は交渉を継続。安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	生コンクリート	山形	製造コスト、輸送コスト増加を理由に組合は今年 6 月より値上げを打ち出す。需要減少が続く中、採算悪化に危機感を強める組合が足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
	生コンクリート	新潟	製造コスト増加を理由に組合は今年2月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随し、需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	生コンクリート	富山	原材料コスト増加を理由に組合は今年 4 月より値上げを打ち出す。非組合員も値上げに追随し、徐々に値上げが浸透して、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果	
	コンクリート用砂 (荒目)(細目) コンクリート用砕石	秋田 製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。今年 9 月に生コン価格が上昇した需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目)(細目)	富山 製造コスト、運搬コスト増加を理由に骨材販売協組は今年 4 月より値上げを打ち出す。今年 9 月に生コン価格が上昇した需要者である生コン工場が値上げを受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目)(細目)	福井 製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは今年 6 月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 (細目)	徳島 県外海砂採取業者からの調達コスト、運搬コスト増加を理由に県内の販売業者は今年 4 月より値上げを打ち出す。今年 6 月に生コン価格が上昇した生コン工場が受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砂 (荒目)(細目)	高松 県外海砂採取業者からの調達コスト、運搬コスト増加を理由に県内の販売業者は今年 4 月より値上げを打ち出す。今年 8 月に生コン価格が上昇した生コン工場が受け入れ、市況上伸。
	コンクリート用砕石 クラッシュラン	高松 製造コスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。安定供給を優先する需要者が値上げの一部を受け入れ、市況上伸。
	クラッシュラン	秋田 製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。災害復旧に伴う河川工事や道路改修工事等で売り腰を強め、市況上伸。
	クラッシュラン	岡山 製造コスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。環状道路や市街地再開発工事で需要堅調な中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	クラッシュラン	山口	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは昨年 10 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、新年度入り後、採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	再生クラッシュラン	札幌	製造コスト増加を理由に中間処理業者は今年 4 月より値上げを打ち出す。需給がひっ迫する中、安定供給を優先する需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	PHC パイル	北陸（新潟除く）	製造コスト増加を理由にパイル協組は昨年 4 月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、昨年度末以降、採算悪化に危機感を強める組合が売り腰を強め、市況上伸。
	鉄筋コンクリート U形 自由勾配側溝	札幌、青森、秋田、 山形、山口、松山、 大分	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
	インターロッキング ブロック	中部、那覇	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。新規工事の発注が進むにつれ価格交渉が進展し、需要者が値上げを受け入れ、市況上伸。
	ヒューム管外圧管 B 形 1 種	四国	製造コスト、運搬コスト増加を理由に一部メーカーは昨年 10 月より値上げを打ち出す。今年 4 月以降、他社も値上げに追随し、売り腰を強め、市況上伸。
	RC ボックスカルバ ート	新潟、金沢、大阪	製造コスト、運搬コスト増加を理由にメーカーは値上げを打ち出す。足並みをそろえて売り腰を強め、市況上伸。
	ベンチフリューム	高松	原材料コスト増加を理由にメーカーは一昨年 10 月以降、値上げを打ち出す。需要低迷により交渉は難航したが、今年度入り後、民間工事や造成工事で売り腰を強め、市況上伸。
	コンクリート積み ブロック	高松	製造コスト増加を理由にメーカーは今年 4 月より値上げを打ち出す。自治体発注工事の県産品優先使用もあり他県からの流入はないため値上げが浸透し、市況上伸。

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
○今回、北陸地区の新潟、富山で生コン価格が上昇した一方で、福井は長期間上昇しておらず、価格水準も低いけどのような状況か。 ○再生クラッシュランはクラッシュランよりも優先的に使用されると思うが、価格が安くあまり上昇がみられない理由は。 ○今月は価格が上昇している資材が多いように思われるが、例年この時期は多くなる傾向があるのか。 3.「積算資料」10月号建築系資材の価格変動の妥当性について	コンクリート積みブロック	松山	原材料コスト増加を理由にメーカーは一昨年4月より値上げを打ち出す。当初、交渉は難航したが、さらなるコスト増加から採算悪化に危機感を強めるメーカーが売り腰を強め、市況上伸。
	【下落した資材】		
	異形棒鋼	九州	資材高や人手不足による大型再開発の先送りや中小物件の延期・縮小が続いており、需要は低水準で推移。商況は閑散としているが、競合が発生した九州地区では、市況下落。
	鉄スクラップ	全国	国内の発生量、流通量は依然低調に推移しているが、輸出量の減少と電炉メーカーの減産で需給は緩和。輸出価格の下落が進み、電炉メーカー、問屋は購入価格を引き下げ、市況下落。
4.「土木施工単価」秋号土木工事費の価格変動の妥当性について	・福井でも他地区と同じように組合では各種コスト増加を受けて値上げを打ち出しているが、需要が低迷していることから、組合と非組合員との競合が発生し、昨年は逆に市況が下落した。その後も競合が続いており、市況は低迷している。		
	・再生クラッシュランの供給は中間処理業者が中心で業者数が多く競合も発生しやすい。また、原材料となるコンクリートがらの受入時に受入料金を徴収していることもあり、新材のクラッシュランほど値上げの動きはみられない。		
	・一般的に年度当初の4月から値上げを行うケースが多く、新規工事の発注に合わせて値上げ交渉が進み、浸透する時期には差があるが、結果として半年ほどを要してこの時期に浸透するケースが多い傾向はある。		
	・審査対象資材のうち、10月号で掲載価格に変動が生じる建築系資材、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は以下のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。		
	＜品目＞	[地区]	(理由)
	【上伸した資材】		
	電線・ケーブル	全国	国内電気銅建値は8月中旬以降、最高値を更新するなど高値圏で推移。需要者は当用買いに徹しているが、販売業者はコスト未転嫁分の転嫁に注力し、段階的に値上げが浸透して、市況上伸。
	・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる土木工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。		

審議事項及び委員意見・質問	経済調査会説明・審議結果		
	＜品目＞	〔地区〕	(理由)
○土木工事の市場単価は労務費の変動に地区による差があまりみられないが、土木工事の性質によるものか。	【上伸した工種】		
	鉄筋工（港湾）	全国	港湾工事需要が堅調な中、職人の確保・待遇改善に努める専門工事業者の値上げ要請に対し、元請業者は値上げを受け入れ、市況上伸。
	型枠工（港湾）		
5. 「建築施工単価」秋号建築工事費の価格変動の妥当性について	コンクリート打設工（港湾）		
	・災害復旧などで特定の地区で工事需要が大きく増えるようなケースであれば、その地区だけ大きく上昇することはあるかもしれないが、土木工事の市場単価に関しては、例えば生コン価格のような地区による大きな差はみられない。しかしながら、今回の港湾工事市場単価でも地区により若干変動率は異なっている。		
	・審査対象工種のうち、秋号で掲載価格に変動が生じる建築工種、都市について需給、市況動向及び価格判定内容を説明した。その大要は次のとおりで、質疑及び審議の結果、了承された。		
	＜品目＞	〔地区〕	(理由)
○設備工事について、職人不足から需給がひっ迫しているとのことだが、新設工事でも厳しいとなると、既存の建設物の改修はさらに厳しい状況か。	【上伸した工種】		
	絶縁電線工事	全国	再開発事業向け等で需要は堅調に推移。専門工事業者は高止まりする材料費や職人の待遇改善によるコスト増加を理由に値上げ交渉を進めた。総合設備工事業者が受け入れ、市況上伸。
	ダクト工事	全国	
6. その他			
	・ある大手サブコンの話では、受注の約4割程度をリニューアル工事が占めていると聞いている。新設で手掛けた案件については、改修があればその後も優先的に継続して請け負っていて、主要な需要のひとつになっている。新設の再開発案件やデータセンターなどは、ひとつの現場で多くの人手を必要とすることから、ひっ迫している。		
	・2026年10月16日（金）10時～12時と決定。		
(1) 次回開催予定	(以 上)		

価格審査委員会規約

(目的)

第 1 条 一般財団法人 経済調査会が実施する資材価格及び工事費(以下「資材価格等」という。)の調査結果について、その妥当性を高め調査の信頼性を向上させることを目的として、第三者による価格審査委員会(以下「委員会」という。)を設置するものとする。

(委員会の事務)

第 2 条 委員会は、代表理事の委嘱に基づき、次の事務を行う。

- 一 資材価格等(定期刊行物に掲載するものに限る。以下同じ。)の調査結果の妥当性について審査すること。審査は公共工事において重要度の高い品目、工事費を選定して行うものとする。
- 二 その他資材価格等の調査に関して必要と認められる事項について審議すること。

(委員会の委員及び任期)

第 3 条 委員は公正中立の立場で審査を適切に行うことのできる学識経験等を有する者のうちから、代表理事が委嘱する。

- 2 委員会は、委員 8 人以内で組織する。
- 3 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。また、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 4 委員は、非常勤とする。

(委員長)

第 4 条 委員会に委員長を置き、委員の互選により選任する。

- 2 委員長は、委員会を代表する。
- 3 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員会の開催)

第 5 条 委員会は、委員長が招集し、原則として毎月 1 回開催する。

(審査の報告・助言)

第 6 条 委員会は、第 2 条により審査の対象となった事項に関し、必要に応じて代表理事に対し審査結果の報告または助言を行う。

(意見等の聴取)

第 7 条 委員会は、第 2 条の事務を行うにあたり、必要に応じて委員以外の者から意見等を聴取することができる。

(秘密を守る義務)

第 8 条 委員は第 2 条の事務を処理する上で知り得た秘密を他に漏らしてはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(事務局)

第 9 条 委員会の事務局は、一般財団法人 経済調査会 調査監理部審査室に置く。なお事務局は価格動向、価格変動理由等の資料を委員会に提出するものとする。

附則

この規約は、平成 15 年 11 月 13 日から施行する。

この規約は、平成 16 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 18 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 21 年 4 月 13 日から改定施行する。

この規約は、平成 24 年 6 月 15 日から改定施行する。